

楽器あそび
楽しいな！

音楽は、子どもたちの生活の中で欠かせないものです。こども園でも、歌う、踊る、奏でるといった活動を通して音楽に触れることを大切にしています。



未来のプロ演奏者？

3歳児の子どもたちは、初めて様々な楽器に出会いました。カスターネットやタンバリンの音に驚いたり喜んだりする姿を見せたり、スズの音を聴いて「サンタさんみたいやな」と感じたことを表現したりしながら、音の特徴や楽器の扱い方などを覚えていきます。

これから、音楽に親しみ、一人ひとりの感じる心や表現する気持ちを大切に育んでいきたいと思えます。

11月20日
(金)

「不自由体験」
をしてみよう

五年 彦江湖心

飯山北小学校の五年生は、総合的な学習の時間「桃の里学習」を通して、高齢者や障害者に対する福祉活動について学んでいます。

福祉センターで行われた不自由体験では「ぐるっとバス」を使って学習しました。そのバスは、私たちがお年寄りの体験をするために乗るバスでした。高齢者の疑似体験のために、私たちの手と足に重りをつけていたので杖をついても、なかなか思うようにバスの段差が上がれませんでした。また、お金を拾うのも大変でした。

この経験を通して、もし困っているお年寄りがいいたら、出来る限りの手助けをしたいと思えました。その後、目の不自由体験や、車椅子体験を行いました。



難しいな



気をつけて！

た。アイマスクを付けて階段を上ると、手すりを持たないと怖くてなかなか進めませんでした。また、友達の補助をしている時に、不安な気持ちにさせているかもしれないと思いました。

車椅子は思ったようになかなか動かず、持ち上げるのも大変でした。貴重な体験をたくさんすることができ、支え合うことの大切さを学ぶことができました。

9月10日
(木)

屋島学習出前授業を終えて

平井 沙羅

飯山中学校校内で、火起こし・焼き板・ソークラフトを行いました。

例年ならば、一年生は屋島少年自然の家で宿泊学習をしていました。しかし、今年は、新型コロナウイルスのために、学校での出前授業になりました。

体育祭や音楽発表会などが、中止になる中で、初めての行事になりました。

一番思いに残っている活動は、火起こしです。普段の生活で、便利に使っている火ですが、自分の力で火を起こすのは、簡単なことではありませんでした。だからこそ、火がついた時は、とてもうれしかったです。その活動中に、屋島の先生方が、優しく声をかけてくださったことも、良い思い出になりました。

また、焼き板やソークラフトも、自分なりに工夫して、制作を進められました。

これからの生活でも、仲間と協力しながら、いろいろなことに取り組んでいきたいと思えます。



火起こしの活動で、火がついた瞬間の写真です。手前には、火を起こすために使用した道具の一部が写っています。